「令和８年度第１回循環型社会推進会議」次第

日時：令和８年 11 月 30 日(月)午後２時
会場：城南衛生管理組合　事務所棟　大会議室

１　開会

２　議事
（１）ごみ減量化の取組状況について
　　ごみ減量化の取組状況について【資料１】
　　提言に対する取組状況一覧【資料２】

（２）構成市町のごみの名称統一について【資料３】

３　その他報告事項
　　環境省 令和７年度補正　家庭系食品ロス発生量等調査支援事業
　　採択について【資料４】

４　閉会

資料１

ごみ減量化の取組状況について

１　循環型社会推進会議

前回会議から力を入れて取り組んだごみ減量施策は以下の通りです。

【提言の主な取組報告内容】

紙ごみ削減対策	・古紙回収拠点の紹介 ・古本市開催
生ごみ削減対策	・環境省　家庭系食品ロス発生量等調査支援事業の支援を受けたごみ組成調査 ・大型キエーロ等の活用 ・フードドライブの実施
プラごみ削減対策	・プラスチック資源回収開始 ・リチウムイオン充電池の分別啓発
その他減量対策	・リチウムイオン充電池等の回収・処理体制の構築 ・エコ・アクション・ポイント対象メニューの拡充 ・ドライブスルーde リサイクル ・衣類のごみ減量施策（サステナブルファッション企画展、羽毛製品無料回収（試行）、子ども服交換会の定期開催） ・おもちゃ病院等リペア事業の定期開催 ・ごみゼロ（５月３０日）イベントの開催 ・他団体との連携 ・環境学習プログラム「ECO フレンズキッズ」事業の開始 ・SNS 等を活用した情報発信の強化

２　それぞれの取組について

・紙ごみ削減対策（古紙回収拠点の紹介）

集団回収などの回収先がない方への選択肢の一つとして、管内における民間古紙回収拠点を組合ホームページで紹介しています。今年度は城陽市のホームページや環境衛生のしおりでも拠点が紹介されました。　　（組合 HP）

回収拠点名	回収拠点住所	営業日・時間帯	持込可能物											出し方ルール・禁止物
			新聞	折込チラシ	雑誌	段ボール	紙パック	封筒類	ハガキ	紙箱	包装紙	紙袋	その他（古着）	
アル・プラザ宇治東	宇治市菟道平町28番地の1	10:00～19:00	○	○	○			○	○	○	○	○		段ボール、紙トレー、ティッシュペーパー、ビニール付きの紙、紙パック、印画紙の写真、紙コップ、タオルペーパー、カーボン紙、アルミ箔を貼ってある紙、圧着ハガキ、シュレッダー紙は禁止物
古紙ドライブスルーユーカリ宇治店	宇治市小倉町天王26-6	8:00～18:30 年中無休（年始三が日はお休み）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	場内の案内に従って、所定の場所に品種ごとに置いてください。 禁止物につきましては、ホームページをご参照ください。
古紙回収ボックス コシクー コーナンプロ宇治大久保店	宇治市広野町茶屋裏21	コーナンプロ宇治大久保店 営業時間に順ずる	○	○	○	○								
エコスポ城陽	城陽市寺田塚本99番1	月～日 8:00～19:00	○	○	○	○		○	○	○	○	○		汚れの目立つもの カーボン紙、シュレッダー紙は禁止物
資源物回収ステーション	城陽市寺田新池38-5	24時間営業 年末年始 （12/31昼から1/5まで）休み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	別紙参照

資料１

・紙ごみ削減対策（古本市開催）

環境ふれあいひろばのリユースコーナーにご提供いただいた本を集め、GWイベントのメインイベントとして古本市を開催しました。無料から１００円で来館者にご利用いただき、身近なリユース体験のきっかけとしました。



・生ごみ削減対策（環境省　家庭系食品ロス発生量等調査支援事業の支援を受けたごみ組成調査）

「環境省　家庭系食品ロス発生量等調査支援事業」の支援を受けた組合可燃ごみの組成調査を本年１１月より行います。食品ロス量とともに可燃ごみ全体の組成状況を把握することで、ごみ減量のターゲットを絞り、より有効な減量施策を行うことが可能となります。

2026年04月06日　再生循環

令和７年度補正　家庭系食品ロス発生量等調査支援事業　一次公募の採択結果について

１．環境省では、自治体における家庭系食品ロス削減等の施策を促進するため、「家庭系食品ロス発生量等調査支援事業」を実施します。

２．本事業では、家庭からの廃棄物及び食品ロス（食べ残し、直接廃棄、過剰除去等）の排出状況の実態把握を含む発生量調査を実施する自治体を支援します。

採択結果

過去に家庭から排出される食品ロスの発生量の調査を実施したことがない自治体、調査結果の活用方針等の観点から、以下の自治体等を採択しました。

室蘭市、米沢市、那須塩原市、日光市、壬生町、綾瀬市、阿久比町、関市、栗東市、城南衛生管理組合、三原市、備前市、久留米市



（環境省 HP）

資料１

・生ごみ削減対策（大型キエーロ等の活用）

従来の衣装ケースを活用したものに加え、管内事業所より寄贈を受けた建具の端材でできた大型キエーロの実証及び啓発を開始しました。ベランダ用の本格的な大型サイズで、今後はその利用状況を随時お伝えしていきます。

また、イベント開催時、キエーロのお試しキットを用意したところ完売するなど、キエーロに対する関心の高さがうかがえます。





・生ごみ削減対策（フードドライブの実施）

宇治市では、これまでうーちゃフェスタなどのイベントでフードドライブ事業を実施していましたが、令和８年１０月１８日に組合で開催した環境ふれあいフェスタを皮切りに、令和８年１０月３０日まで、まち美化推進課や市公共施設に回収箱を設置し、フードドライブ事業による更なる食品ロス対策に取り組みました。

なお、城陽市、八幡市及び久御山町においても同様の取組が実施されています。

（宇治市 Instagram）



資料１

・プラごみ削減対策（プラスチック資源回収開始）

令和８年４月より管内におけるプラスチック資源回収が開始されました。大きな混乱などは見受けられず、今後は搬入量の推移や分別状況を分析し、ご報告します。



（宇治市 HP）

・プラごみ削減対策（リチウムイオン充電池の分別啓発）

プラスチック資源回収開始に伴い、火災の原因となる小型家電、特にリチウムイオン充電池の混入を防ぐため、分別啓発を強化。SNSや広報紙で定期的に啓発を行っています。リチウムイオン充電池をはじめとする小型家電による発煙・発火は令和７年度で７７３件発生しており、引き続き構成市町と連携し、分別啓発の強化に努めます。



資料１

・その他減量対策（リチウムイオン充電池等の回収・処理体制の構築）

宇治市では、環境省の「リチウムイオン電池等の製造・販売事業者等と連携した回収体制構築実証事業（二次公募）」により市内販売事業者（スーパーマーケット３店舗）に回収箱を令和８年１１月２１日から令和９年１月２２日まで設置します。市公共施設に令和８年１月から設置している回収箱と収集量等を比較することで、住民にとって利便性が高く、安心・安全な回収方法について検証を行います。





・その他減量対策（エコ・アクション・ポイント対象メニュー拡充）

循環型社会推進会議からの提言を踏まえ、ごみ減量に向けた住民の行動変容を促す手段の一つとして、令和７年７月から環境省が推進する全国共通のポイントプログラム「エコ・アクション・ポイント」を導入しています。これは、住民の環境行動（エコアクション）を「見える化」し、ポイントとして還元する仕組みです。令和８年度は、更なる利用促進を図るため、既存メニューのポイント付与数の見直しや対象メニューの拡大を実施しています。また令和９年１月から井手町でも導入予定です。

エコ・アクション・ポイントを活用することは、トレーなどを購入店舗に返すといった「ごみの排出抑制を図る」「ごみ減量に資するチャンスを増やしていく」ことにもつながるため、今後も普及啓発に努めていきます。



資料１

・その他減量対策（ドライブスルーde リサイクル）

宇治市では、更なるリサイクルの推進のため、「やっちゃえ　ごみ減！ドライブスルーde リサイクル」と題して、住民の方にドライブスルー方式でリサイクル・リユース品等を持ち込んでいただくイベントを令和２年度から実施しています。令和７年度は組合と共催し、クリーンパーク折居において、約１６ｔを回収。今年度は、令和８年１１月２８日に東宇治浄化センターで実施しました。



・その他減量対策（衣類のごみ減量施策）

衣類のリサイクルについては、市町の集団回収等で行われているところですが、組合では企画展で「サステナブルファッション」の考え方を紹介しました。また、草木染など以前から開催している古布や着物地を使ったアップサイクル体験とともに、まだ着られる子ども服を再活用する「子ども服交換会」を定期開催しています。

さらに、羽毛製品の無料回収も試行で開始しています。





資料１

・その他減量対策（おもちゃ病院等リペア事業の定期開催）

ごみ減量における新たな視点として、リペア（修理）を取り入れた事業を開始しています。おもちゃ病院やわたのご協力をいただき、持ち込まれたおもちゃを専門スタッフが修理する取組を実施しています。また、親子で修理を体験できるイベントも開催しています。

さらに、服の穴あきを修繕する「つくろいもの教室」など、新たな取組も企画しています。





・その他減量対策（ごみゼロ（５月３０日）イベントの開催）

令和７年度第２回の循環型社会推進会議での提案を受け、ごみゼロの日（５月３０日）に「ごみゼロわくわく体験 DAY」を開催しました。当日は、かえっこバザール（おもちゃの交換会）、プラスチック資源の分別啓発展、キエーロ紹介、工房体験等を実施しました。



資料１

・その他減量対策（他団体との連携）

組合では例年２回ほどチップ化物の配布を施設内で行っていますが、活用の場を広げるため令和８年度は宇治市植物公園と連携。宇治市植物公園の講習会やイベント等でお試し袋を 270 袋用意し、受講者・イベント参加者に持ち帰っていただくなど、チップ化物配布事業の周知をしました。

組合ではこれまで高校や大学との連携も行っており、構成市町と組合そして他団体との交流を密にすることで、より効果的なごみ減量施策に資することが期待されます。



宇治市植物公園での配布の様子



・その他減量対策（環境学習プログラム「ECO フレンズキッズ」事業の開始）

小学３年生から６年生までを対象とした年間１０回の環境学習プログラムを開始しました。継続的な体験を重視した学びを通じて、資源循環の大切さや環境問題へ理解を深めることを目的としています。本年度は管内１７名の子どもたちが初代の ECO フレンズキッズとして登録し活動しています。活動の内容については年間計画表をご参照ください。



資料１

【年間計画表】

5月10日（日） 済	発足式・オリエンテーション これから使う名札ケースにデコパージュしよう	10月18日（日） 済	環境ふれあいフェスタのスタッフになって一緒に盛り上げよう
6月14日（日） 済	雑がみのヒミツを知ろう ラップの芯でレインスティック作り	11月8日（日） 済	木の命のめぐり体験 秘密基地作り＆まき割り体験
7月12日（日） 済	イベントスタッフになって一緒に盛り上げよう	12月13日（日）	プラスチックのはてな いらなくなったプラスチックでアートを作ろう
8月9日（日） 済	食品ロスはこんなに減らせる エコクッキングにチャレンジ。 キエーロ体験も	1月10日（日）	冬の植物を観察しよう 剪定枝で木工作品作り
9月13日（日） 済	他施設見学＆体験（はりまエコハウス）	3月14日（日）	修了式・ふりかえりパーティ

・その他減量対策（SNS等を活用した情報発信の強化）

令和７年度以降、SNS等を活用した情報発信の強化に努めています。SNSでは、ごみ分別解説動画100本に加え、プラスチック資源分別収集開始前には、計８本の集中投稿を実施しました。

また、リチウムイオン電池やプラスチック資源の分別啓発を継続的に行うとともに、広報紙と連動したSNSクイズや、GWイベントでのプレゼント企画など、様々な媒体を活用し、住民の方々が環境情報に触れる機会を増やす情報発信の仕組みづくりを進めています。



資料１



jyonaneikan_official 【ごみクレーンのお仕事】
ごみクレーンは、ごみピットに溜めたごみをつかみ、焼却炉に入れるための装置です。
でも、実は投入する前に、もうひとつ大事な役割があります。
それが「ごみ質の均一化」です。

ごみには、紙のように燃えやすいものや、水分の多い生ごみなど燃えにくいものも混ざっています。
そのまま焼却炉に入れてしまうと、温度が安定せず、炉の損傷や燃え残りの発生につながるおそれがあります。

そこでクレーンでごみをつかんで離す動作を繰り返し、
ごみをほぐして、よくかき混ぜ、燃え方が偏らないように整えているのです。
焼却炉を安定して動かすための、大切なお仕事なんです。

ごみクレーンの動く様子は、クリーンパーク折居で見学いただけます。
予約不要ですので、お気軽に「環境ふれあいひろば」にお越しください。

環境ふれあいひろば（クリーンパーク折居）：
宇治市宇治折居18番地（太陽が丘に隣接しています）
営業時間：9：00-17：00
※月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12/28～1/5）は休館日です。



6万件



3万件

資料１

ごみ減量施策に係る提言

２０５０年ゼロエミッションに向け、また将来世代に負担を残さないために更なるごみの減量が必要。家庭ごみの大半は紙ごみ、生ごみ、プラスチックが占めており、そのために以下の対策について検討するよう提言する。

１　紙ごみ削減対策

○古紙・雑がみの分かり易い分別方法の普及・啓発
○古紙・雑がみの分別の必要性についての意識啓発
○古紙・雑がみ回収拠点（民間回収拠点を含む）の場所・仕組の周知

２　生ごみ削減対策

○生ごみの３キリ運動(水きり、食べきり、使いきり)の普及・啓発
○フードドライブ取組店舗の周知
○生ごみ処理機やコンポストなどを活用した生ごみを減量する方法の普及・啓発

３　プラスチックごみ削減対策

○マイボトル・マイバック運動の普及・啓発
○プラスチック使用製品廃棄物の一括回収の推進
○プラスチック製容器包装やペットボトルなどプラ製品の分別方法の周知

４　その他の減量対策

○エコポイントを活用した分別やリユースの促進
（エコポイントの導入については市町の判断に委ねる）
○SNS や若者の意見を取り入れるなど新しい啓発方法
○スーパーなど民間回収拠点を活用した分別・啓発
○教育、福祉分野など他部局と連携した環境教育や普及啓発
○３市３町のごみ分別について可能な限り統一化
○減量目標値等の設定

５　経済的インセンティブの活用

○資源化できるものは可能な限りごみ分別の徹底を図るため、住民の理解を十分に得ながらごみ有料化を進めるべき
○有料化で得られた財源による住民サービス向上等への活用方法

提言に対する取組状況一覧

啓発事業は赤字、実務は黒字で表記しています

資料２

		宇治市	城陽市	八幡市	久御山町	宇治田原町	井手町	組合
紙ごみ削減対策	○古紙・雑がみの分かり易い分別方法の普及・啓発	市政だより　特集号・HP 出前講座 環境教育（幼保こども園、小・中学校）	継続：LINEのごみ分別辞典で周知	継続：ごみ分別アプリで周知	継続：広報紙　特集号・HP	**継続：ごみの出し方チラシを配布**	広報紙	インスタ投稿
	○古紙・雑がみの分別の必要性についての意識啓発	市政だより　特集号 古紙回収日程表裏面啓発記事 継続：未組織地域の収集実施	環境衛生のしおり改定 **環境衛生のしおりとHPで古紙回収拠点を紹介**	継続：楽しく学べる「やわたエコかるた」	**啓発チラシの全戸配布を予定**	**継続：ごみの出し方チラシを配布**	継続：町による回収	インスタ投稿・企画展 段ボール工作教室
	○古紙・雑がみ回収拠点（民間回収拠点を含む）の場所・仕組の周知	継続：パック回収箱設置場所を紹介	**環境衛生のしおりとHPで持ち込み回収拠点を紹介** 継続：衛生センターで古紙回収	継続：古紙・雑がみ回収拠点（民間回収拠点）の場所を紹介		継続：再生資源(古紙)集団回収状況と実績を広報紙とHPに掲載		回収拠点マップのHP掲載
		継続：奨励金	継続：奨励金	継続：奨励金	継続：奨励金	継続：奨励金	継続：奨励金	
生ごみ削減対策	○生ごみの３キリ運動(水きり、食べきり、使いきり)の普及・啓発	市政だより　３キリ啓発記事 出前講座 環境教育（小学校） キエーロ	広報紙、HPで3キリ啓発 環境衛生のしおり改定	**継続：広報誌に食品ロス削減月間の啓発記事を掲載** 継続：楽しく学べる「やわたエコかるた」 **継続：「令和８年度 八幡市環境事務所からのお知らせ」及び「ごみ分別冊子」（一新）で啓発** **継続：環境教育絵本「ぜ～んぶ　たべちゃうよ」をテーマとした「大根収穫体験＆エコクッキング」を実施**	継続：広報紙　特集号 継続：環境の日イベントで啓発 **啓発チラシの全戸配布を予定**	ごみの出し方チラシを配布 **広報紙等での啓発予定**	広報紙 **継続：町内小学校と井手やまぶき支援学校にドライ・コンポスト等を活用したごみの減量活動の取組みを実施**	インスタ投稿・広報紙・HP・企画展・エコクッキング教室
	○フードドライブ取組店舗の周知	**環境ふれあいフェスタに出展しPR** **R8.10/19～10/30　フードドライブを拠点回収（EAP付与）**	**環境ふれあいフェスタに出展** **常時拠点回収（公共施設）を１箇所追加** 継続：常時回収拠点設置、10月に市内金融機関・商業施設等で期間限定実施	**継続：市役所で拠点回収を実施（R8.10/1～10/30）** **継続：スマートエコ祭で拠点回収を実施**	役場、町立各こども園、ファミリーマート（もみいけ店、佐古店、森店）、イオンモール久御山、社会福祉協議会に常設			インスタ投稿
	○生ごみ処理機やコンポストなどを活用した生ごみを減量する方法の普及・啓発	出前講座　キエーロ **継続：まち美化推進課窓口で展示**	**市のイベントでキエーロ啓発** キエーロ啓発事業　アル・プラザ城陽			継続：導入補助	継続：導入補助	キエーロ啓発イベント（アル・プラザ城陽・イオンモール久御山）・インスタ投稿・HP **大型キエーロの展示**
					食品ロス学習会を開催（年３回）			地域ニュースサイト号外NETで組合キエーロ記事に 大型キエーロ
プラスチックごみ削減対策	○マイボトル・マイバック運動の普及・啓発	うじスマートウェルネス推進事業「うじウォーク」 **環境教育（小・中学校）** **令和8年10月からマイバッグの持参でEAPを付与**	継続：環境衛生のしおり	**継続：楽しく学べる「やわたエコかるた」** **プラスチックの「３R」の推進啓発チラシ（マイバッグ・マイボトルの推進啓発）**				環境ふれあいフェスタでのノベルティ
	○プラスチック使用製品廃棄物の一括回収の推進	**市広報紙にて啓発** **出前講座で啓発**	自治会長会議で周知 老人福祉センターで周知 公共施設で事前説明会開催 希望する団体に事前説明会を開催 広報紙特集号で啓発 環境ふれあいフェスタや市のイベントで啓発 **出前講座で周知**	分別冊子の一部修正と増刷 広報紙で不定期に掲載 **継続：HPでの掲載（しおりとQ＆Aなど）** **継続：塵芥車の看板での啓発** **出前講座によるプラスチック資源の分別周知** **外国語版ごみの出しかたの修正（プラスチック資源の内容に変更）**		**広報紙・HP・SNSで啓発**	広報紙	工場整備・体制整備
	○プラスチック製容器包装やペットボトルなどプラ製品の分別方法の周知	出前講座・号外・HP・SNS **環境教育（中学校）**	出前講座 広報紙特集号	**継続：出前講座による分別方法の周知・啓発**	継続：広報紙・HP	**広報紙・HP・SNSで啓発** **「環境ふれあいフェスタ」の市町ブースで「ごみ分別クイズ」を実施し、分別の徹底を周知**	広報紙	インスタ投稿・広報紙・企画展・講演会および出展・教室 **分別啓発特にリチウムイオン充電池**
				プラスチックごみの削減啓発チラシ作成 **海洋プラスチック問題についてのパネル展示（スマート・エコ祭）**	継続：出前講座			
その他の減量対策	○エコポイントを活用した分別やリユースの促進（エコポイントの導入については市町の判断に委ねる）	インスタ投稿１回 **ポイント付与メニュー追加** **継続：やっちゃえごみ減!!ドライブスルーdeリサイクル** **制服や自転車等窓口での引き取り**	アル・プラザ城陽や環境ふれあいフェスタ、市のイベントで普及啓発 継続：ポイント付与の実施 合同説明会開催		町民運動会での啓発 フードドライブで食品を提供したら、エコアクションポイント付与 **対象店舗の資源回収ボックス（衣料品・雑貨・ペットボトル・紙パック・食品トレー・アルミ缶）を利用した人にエコアクションポイント付与（メニュー拡充）**	**R9年度以降に導入に向け検討中**	**R9.1～エコアクションポイント開始に向け準備中**	R7.7～エコアクションポイント開始 **R8　メニュー拡充**
	○SNSや若者の意見を取り入れるなど新しい啓発方法	インスタ投稿７回 **多言語（英語・中国語・韓国語・ベトナム語）での啓発**	**LINE等のSNSで周知・啓発（プラー括収集、リチウムイオン電池の拠点回収、ビーズクッションの出し方　等）**	**継続：ごみ分別アプリによるごみ分別・ごみ収集日の検索機能、HPやごみサクによるごみ分別検索機能** **継続：LINE・Xにおいてフードドライブ、スマートエコ祭の実施周知を投稿**	インスタ投稿「環境かわらばん」	**LINEをより活用した啓発活動**	**LINEをより活用した啓発活動**	**ECOフレンズキッズ事業開始** **工場発のSNS投稿**
	○スーパーなど民間回収拠点を活用した分別・啓発	アルプラザ宇治東店　宇治子ども　ものづくりフェス開催 **充電池等回収実証事業（環境省採択事業）** **スーパーを回収拠点とした発泡トレー等の分別収集（EAP対象）**	アル・プラザ城陽、アヤハディオでキエーロ啓発 **継続：食用油常時回収拠点設置** **継続：スーパー等の民間回収拠点利用者へのポイント付与の実施**		継続：イオンモール久御山に食用油回収拠点		継続：廃食油のイベント回収	キエーロ啓発イベント（アル・プラザ城陽・イオンモール久御山）
	○教育、福祉分野など他部局と連携した環境教育や普及啓発	継続：槇島中学校との宇治川清掃 継続：うじのすけ（スケルトンバッカー車）を用いた分別等環境教育を実施　保育所、幼稚園、小・中学校。**幼保では、紙芝居や絵本も併用。** **継続：青少年センターや放課後デイサービス事業所において、分別ゲームの実施** **小学校4～6年生に対して、今年度納入予定の塵芥車に掲出するごみ減量スローガンを募集**	**社会福祉協議会（ボランティア向け会議）での出前講座** **「もったいない」をテーマにした保育園での出前講座** 継続：小学校への出前講座	継続：出前授業（小学4年生対象）の開催（ごみの分別・塵芥車の見学など） **継続：摂南大学との連携により作成した環境教育絵本を活用して、食品ロス削減について啓発** **継続：就学前環境教育推進事業による幼稚園・保育園等での地球レンジャー公演（ごみの分別全般の紙芝居の実施）**	久御山町環境政策プロモーション事業で町内小学校で環境学習を実施（令和７年度：地球温暖化・気候変動・森林破壊・大気汚染・海洋汚染について） **収集車の乗車・積み込み体験やごみ減量、分別等の出前講座を小学校で実施**	町内小学校２校との連携		立命館宇治高校との連携 **宇治市植物公園と連携したチップ化物の普及啓発**
	○３市３町のごみ分別について可能な限り統一化	**ごみの名称統一**	**ごみの名称統一**	**ごみの名称統一**	**ごみの名称統一**	**ごみの名称統一**	**ごみの名称統一**	「プラスチック資源」に統一 **ごみの名称統一**
	○減量目標値等の設定							
		継続：拠点回収（紙パック・雑紙・天ぷら油・ペットボトルキャップ・蛍光管・小型家電・インクカートリッジ・充電池） 継続：海外リユース事業（服・ぬいぐるみ等） **継続：中学校制服リユース** **継続：無料資源収集（小型・中型家電・自転車・金属製調理器具・食器類・羽毛布団・中学校制服・ミシン・充電池・水銀製品・金属製品）** **継続：集合住宅の自転車引き取り（海外へのリユース）**	環境ふれあいフェスタや市のイベントで啓発 **廃蛍光管回収拠点の常設化** 継続：小型家電や小型充電式電池の常時拠点回収 継続：食用油の定期拠点回収 **継続：ゼロカーボンシティ宣言にもとづく取り組みの実施（ポイント付与の実施）** **市の環境イベント「城陽市環境フォーラム」において「地球温暖化防止につながるごみの減量と分別」をテーマに基調講演や啓発を実施（令和８年１１月）**	継続：「環境・ごみ」についてをHPにアップ 継続：「まちかどのごみ」ゼロの日による市内一斉清掃活動の実施（年2回） **充電式電池の処分についての広報活動（デジタルサイネージの活用・広報誌・HPなど）** **継続：小型家電の常時拠点回収、食用油・蛍光管・ペットボトルキャップの定期拠点回収**	**久御山福祉コミュニティー祭り、イオンモール久御山「地球温暖化啓発イベント」、町民運動会にて環境ブースの出店、クロスビア市に啓発ブースの出展** **環境の日のイベントに出展** **環境ふれあいフェスタや環境の日イベント、広報紙にて小型家電・小型充電式電池の拠点回収の周知** **収集車の乗車・積み込み体験（環境の日イベント）**	**継続：廃食油や小型家電・リチウムイオン電池・水銀使用製品の拠点回収周知**	**R8.4～小型家電・充電池の拠点回収開始**	小型家電・充電池・水銀使用製品の拠点回収 **ごみゼロわくわく体験DAY開催** **サステナブルファッション企画展・羽毛製品無料回収・子ども服交換会** **おもちゃ病院等リペア事業の定期開催** **古本市** **より時勢に応じた環境テーマを基にしたフェスタの開催**
経済的インセンティブの活用	○資源化できるものは可能な限りごみ分別の徹底を図るため、住民の理解を十分に得ながらごみ有料化を進めるべき							
	○有料化で得られた財源による住民サービス向上等への活用方法							

※下線付太字は前回資料から追加した項目

※「継続」は提言を受けて引き続き力を入れて取り組んでいる内容

資料３

構成市町のごみの名称統一について

組合構成市町ではこれまで、ごみの名称が一部異なっていました。循環型社会推進会議において「ごみの分別統一」が提言として示されたことから、まず名称の統一について以下の内容で集約を行いました。

	ごみの名称
1	燃やすごみ
2	燃やさないごみ
3	缶
4	びん
5	紙パック
6	ペットボトル
7	プラスチック資源
8	大型ごみ
9	小型家電
10	充電式電池
11	乾電池
12	スプレー缶・カセットボンベ
13	剪定枝
14	新聞・チラシ
15	雑誌・雑紙
16	ダンボール
17	古着・古布
18	食用油
19	ペットボトルキャップ
20	蛍光管
21	水銀使用製品（〇〇〇）※カッコ内は製品名

資料４

環境省　令和7年度補正

家庭系食品ロス発生量等調査支援事業採択について

環境省　家庭系食品ロス発生量等調査支援事業の支援を受け、11月に可燃ごみの組成調査を行いました。これは食品ロス対策を進めるため、実際のごみ袋を展開検査し、食品ロス（過剰除去、直接廃棄、食べ残し等本来食べられるのに廃棄される食品）の混入割合を全国ベースで実態把握するために行われている環境省の事業です。なお組合では食品ロスだけでなく、可燃ごみ全体の組成状況を把握することとしました。

1. 調査内容

組合管内全体の傾向をつかむため、下記テーマを設け、ごみの採取・調査を行いました。

テーマ

ごみの排出に関する世代差（若年・中年・高齢）を把握するとともに、国における外国人労働者の雇用促進が進められていることから、管内で今後さらに外国人居住者が増加すると想定し、日本的な生活スタイルへの戸惑いを少なくし、快適に暮らしていただくためにはどういった排出啓発が望まれるのかを検討するためのデータを得る。

- ・若年：単身者マンションエリア等
- ・中年：新興住宅地エリア等
- ・高齢：既存住宅地エリア等
- ・外国人：公団エリア等

2.調査方法

市町等のごみ収集車に同行し 10 ステーションから各 15 袋、合計150袋程度を回収。施設内でごみの種類ごとに分類しました。（条件ごとに回収。計 4 回実施）

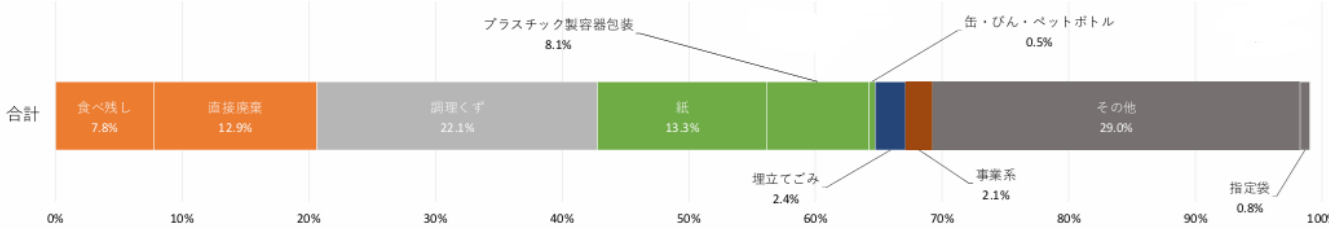
3.調査結果

現在、取りまとめ中のため、次回循環型社会推進会議で報告します。

なお環境省のHPには、過去に行われた亀岡市や与謝野町などの京都府他団体事例も掲載されています。

資料４

亀岡市の調査における全体の組成割合（令和3年度）



実施時の写真



画像１　組成調査の様子（分別作業）



（環境省 HP より）